

## 課題解決型高度医療人材養成プログラム 選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント

〔 取組 1 〕 医師・歯科医師を対象とした事業  
 ( 2 ) 特に高度な知識・技能が必要とされる分野の医師養成  
 テーマ② 慢性の痛みに関する領域

	整理番号	3
申請担当大学名 ( 連携大学名 )	三重大学 ( 鈴鹿医療科学大学 ) 計 2 大学	
事業名	地域総活躍社会のための慢性疼痛医療者育成	
事業責任者	医学系研究科教授 丸山 一男	
<b>事業の概要</b>		
<p>三重大学と鈴鹿医療科学大学が協力し、痛み治療に係わるメディカルスタッフ（医師、理学療法士、看護師、鍼灸師、薬剤師、栄養士、臨床心理士）を養成するために、早期より教養教育を並行して選択受講できる「慢性疼痛医療者育成プログラム」を新設する。本プログラムには慢性疼痛の①病態生理、②診断と治療、③チーム医療的アプローチを学ぶ3つのコアコースを中心に、地域での慢性疼痛医療を実践することを念頭に置いた体験重視のワークショップ形式集中講義「地域慢性疼痛実践」と「漢方と慢性疼痛」を加えた特徴的な構成とし、すべての単位を取得した学生には修了証を発行する。慢性疼痛医療教育センターを設置し、ICT とタブレットを用い受講者の利便性と学ぶ意欲を促進する。慢性疼痛に関する医用工学研究と大学院教育も行い分厚い学際的体制を構築する。</p>		
<b>推進委員会からの主なコメント</b> ○：優れた点等、●：充実を要する点等		
<p>○地域での慢性疼痛緩和のための教育・啓発活動の実績があるほか、医療系大学との連携で、メディカルスタッフも対象とした多職種、チーム医療も含む点が評価できる。</p> <p>○キャリアのイメージを描けるように、現場を体験できる機会を作ることとしているなど、新しい人材育成モデルとして期待できる。</p> <p>○ICT を活用した双方向の学修を目指しており、効率の良いプログラムとして期待できる。</p> <p>○地域特性が考慮された計画となっている。</p> <p>●補助期間終了後も本事業を確実に継続するための計画を具体的に検討する必要がある。</p> <p>●他大学等の参考となるよう本事業に係る取組や成果等を積極的に情報発信するなど、事業の普及・展開に努める必要がある。</p>		